

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
高知支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

受講者の皆さん、修了おめでとうございます。

6か月間お疲れさまでした。

初めて聞く専門用語に苦戦しつつ、久しぶりの座学、医療的ケアや生活支援の演習、そして修了評価などなど・・・、困難はそれぞれにあったと思います。

しかし、それを乗り越えやり遂げた皆さん！心から敬服します。

今後、ますます需要の高まる介護業界。更に、ノーリフティングケアや生産性向上のためのICT化や介護ロボットの導入等、どんどん進化する介護業界の中で、多様なニーズに応えられる質の高い知識・技術が求められてきます。

「本質のサービス(対価に見合う)」と「感情が喜ぶサービス」の両方を満たし、利用者様にもご家族にも心から満足してもらえるようなどんな介護のプロをめざしてください。

誰もが迎える最期、「あなたにお世話になって良かった。ありがとう。」と言われるようになったら、介護職冥利に尽きますね。

この6か月間学んだプロセスは自信と誇りに繋がっていると思います。

講師の方や一緒に学んだ仲間への感謝も忘れず、ご自身の健康に留意し、ご活躍を祈念いたします。

高知支部職員一同

講習風景

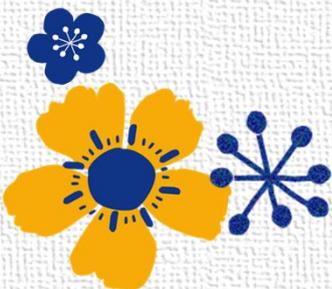
座学



施設見学

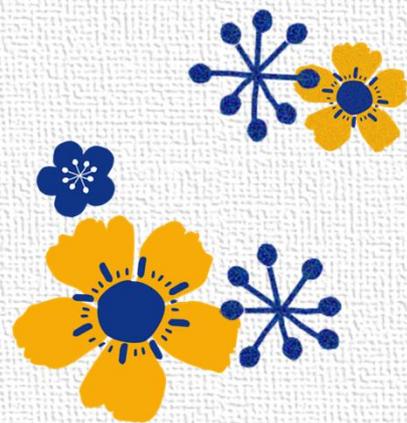


グループワーク



講習風景

実践（口腔ケア）



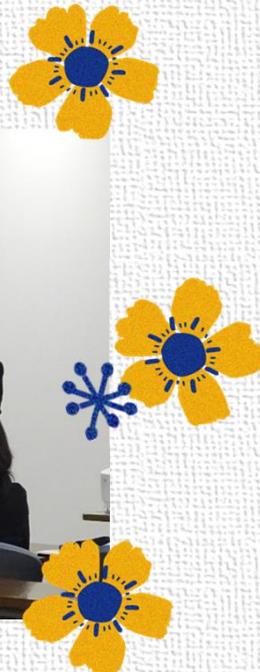
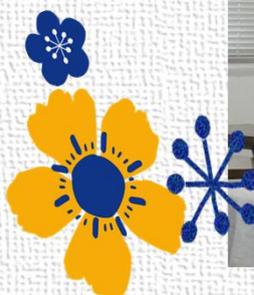
医療的ケア演習



生活支援技術



修了式



講習を終えて

今年は20名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護の経験も知識もゼロでしたが、時間をかけてしっかり学ぶことができました。これからの人生で必ず役に立つ知識だと思います。今回学んだことを大切にしていきたいと思います！本当にありがとうございました。

(40代女性)

6ヶ月の講習を終えて、色々大変なこともありましたが、努力すれば自分のためになると、再確認できました。講師やセンターの方々も優しく、講習に来るのが楽しかったです。

(40代女性)

介護未経験ですが、講師の方々も優しく楽しく講義を行ってくださいました。一緒に講義を受けた仲間は、年齢も、前職もバラバラで、色々な刺激を受けながら楽しく講習を終えることができました。今回の講習では普通に生活していたらできなかった経験ができました。

(40代男性)

始まる前は『長いなあ』と思っていましたが、いざ終了すると『早かった』に変わっていました。どの講師も教え方や伝え方がわかりやすく、すごく良い学びになりました。試験や実技は大変でしたが、学んだからこそ出来る事であって決して苦ではありませんでした。私は学ぶにつれて介護がもっと好きになりました。これも講師の方々のおかげだと思っています。ありがとうございました。

(30代女性)

講師は実際に現場で長く働かれている方々ばかりなので、机上だけでは学べない現場での具体的な例を交えて話をしてくださったので、とても勉強になりました。就職先候補へ実習に行くことで、現場の人の生の声を聞いて、就職のイメージが付きやすかったです。

(40代女性)

両親を介護中で最後まで通えるか心配でしたが、職員の方の温かい励ましとサポートのおかげで無事に修了できました。講師の方々も魅力的で、利用者の方の人生に寄り添える真心とスキルを持ち、豊富な現場経験を活かし含蓄のあるお話を下さりました。演習は大変でしたが、その都度グループになって受講者と助け合って乗り切ることができました。この経験がこれからの私を支えてくれることと思います。本当にどうもありがとうございました。

(50代女性)



就職先を訪ねて

和田 隆英さん

令和6年度修了者

介護労働講習で学んだことや感想は？

講師の方から「利用者さんが『イヤ』と言うのには理由があり、その理由が何かを考える必要がある」と教わりました。介護の仕事を始めて、実際利用者さんから「イヤ」と言われる場面があり、なぜ「イヤ」と言われるのか必ず考えるようにしています。実習での経験がとても役に立ちました。講習では実技の講義をもっと受けたかったなと思います。実技の講義で移乗の際には「車いすのブレーキをかけて」「足をおろして」等と習ったと思うが、いざその場面に直面したら忘れてとっさにできなかったし、受講者同士で介助の練習するのと要介護者を介助するのは違う部分があるので、もっと繰り返し練習すればよかったなと思っています。試験前は自宅でも復習したりしていたが、今も仕事から帰るとメモしたことをノートに写しなおして振り返りをしているので、講習での習慣が役に立っています。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

まず、女性の利用者さんに対して（男性の自分が）どこまで介助していいのか戸惑ってしまったが、利用者さん自身がいろいろ教えてくれるので助かっています。また、最初はわからないことばかりで、目についた仕事をすぐにしてしまっていたが、他の職員さんとコミュニケーションをとっていくうちに仕事の流れが把握できて、流れがわかると少し安心して業務を行うことができるようになりました。以前の営業職は就業時間があってないようなものだったが、今はお昼はきっちり1時間休憩、定時で終業できる職場なのでとても働きやすいです。

これから受講される方へメッセージをお願いします

自分は親の介護を経験していたが親に認知症はなかったので、認知症等について詳しい知識もありませんでした。講習を受けて認知症が病気であることや対応の方法などを学び、認知症の方への考え方が変わったので、これから介護の仕事に就く就かないに関わらず、生活していくうえでも役に立つ知識が得られたと思います。退職して生活リズムが乱れていましたが、半年間通学したことで生活リズムも整ったので、受講してよかったと思います（笑）。

事業主さまから一言

デイサービスセンター サイト 管理者 本山 将也 様
ショートステイセンター サイト

普段の仕事ぶりはいかがですか？

一生懸命、前向きな姿勢で仕事に取り組んでくれています。今までの当センターのスタッフは上が40代で子育て世代が多く、体力はあるけど利用者さんとの世代差が大きく、年齢層が若過ぎると感じていたので、和田さんが来てくれることになりとても嬉しく思っていました。体力的に大変な部分もあるとは思いますが、それを感じさせず食らいついてきてくれています。デイの仕事は、利用者さんに合わせて変化するため、次の日には仕事が変わっていることが多いので、介護職のベースがないと余計に大変だと思いますが、メモを取ってその日の仕事を振り返っている姿勢に感心しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護業界は人材不足で労働力を欲しています。昔あった介護職に対するネガティブなイメージを払拭できるよう、各法人、手厚く指導することに力を入れたり、給与や休みの面でも処遇改善に努めています。定時で仕事を終え、複数の仕事を掛け持ちしたりと、マルチな働き方ができる事業所もあります。介護の仕事は、講習で学んだことを活かし、より専門性を上げていくことができます。介護福祉士試験もパート合格が導入され取得しやすくなるので、ご自身のスキルアップもできます。